

現代のさまざまな社会的課題に立ち向かう企業を支援する

三井住友銀行の評価型資金調達ソリューション

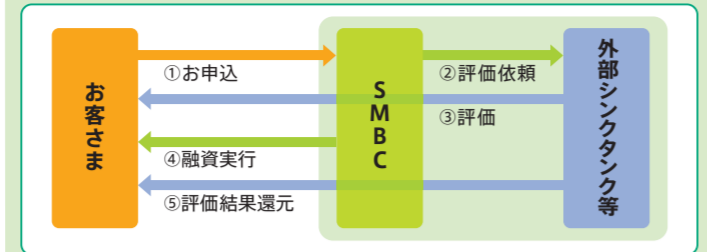
低炭素社会への移行、自然災害への備え、食と健康など、現代社会を取り巻くさまざまな課題。多岐にわたる社会的課題を解決し、安心安全な社会をつくるためには、企業によるイノベーションが必要不可欠だ。

時代を先取りする

評価型資金調達ソリューション

現代の企業を取り巻く課題は年々多様化している。企業が健全に成長することができるかを図る指標としては、財務面だけでなく、省資源・省エネルギーや、地球温暖化への対応、自然災害、食の安全などの社会的課題にいかに対応しているかという観点も重要である。

●評価型資金調達ソリューション(スキーム概要)



すべてのソリューションにおいて、外部シンクタンクとの連携や、第三者による制度スキームに関する意見を得ながら、評価の客観性、信頼性を確保する。

環境経営の支援に加え

ビルの環境性能も新たに評価

評価型資金調達ソリューション第1号は、2008年にリリースした大企業向けの「SMBC環境配慮評価融資」。現在約1200件もの利用がある。

上り、7段階の格付けを行う。



「環境経営に取り組み、まわりのお客さまの多くが、自社の取り組みが現状で十分なのか、足りない部分はないかを知りたい」と思っている方がいます。

「食・農」や「事業継続」への取り組みもトータルに評価

「SMBC食・農評価融資」は、穀物価格の高騰や食の安全性の問題、話題のTOP参加や農水産業の構造改革についての議論など、「食・農」に社会的な関心が高まっていることに着目して開発された。

現在、食品関連企業4社にご利用いただいております。消費者や農水産業との対話にも力を入れて、評価を高く評価させていただきました。」

「環境経営に評価する」SMBC事業継続性評価融資も、2011年10月から取り直しを開始した。地震や洪水、インフルエンザ蔓延など、昨今企業のリスク対応の重要性が増大しており、とくに東日本大震災以降、トップダウンでBCP(事業継続計画)を策定、あるいは見直しを行う企業やBCMS(事業継続マネジメントシステム)の構築をめざす企業が増加。そこで同行は、事業継続取り組みの評価基準をMS&A&Dインシユアランスグループのインテリリスク総研と共同で開発している。

「いまやビルの環境性能はテナントが求める重要な条件のひとつです。こうしたビルを保有・建設する企業を金融の立場から応援させていただくことで、環境性能が高く、リスク対応に優れたビルの普及促進につなげていきたいと考えています。」



時代のニーズに合わせて顧客とともに明日の社会を描いていく

三井住友銀行は、今後も社会的課題と顧客のニーズに合わせた評価型資金調達ソリューションのラインアップを広げる方針だ。「多くのお客さまに、自社の抱える課題に対して、明日につながる取り組みを実施していただければと考えています。その取り組みを金融的な側面から応援することで、お客さま、私たち自身も発展できる。そうした関係を築いていくことが、私たち銀行の社会的責任ではないかと思えます。」

ともに考え、ともに進む。新しい時代の企業経営へ。

三井住友銀行は、さまざまな分野で先進的な取り組みをしている企業を評価型資金調達を通じて支援しています。

http://www.smbc.co.jp/hojin/eco/ 環境ビジネス情報はSMBC 検索

Grid of logos for various partner companies including CASIO, ASICS, KONAMI, ANA, MOL, TOYOBO, and many others.

Vertical panels highlighting SMBC services: SMBC環境配慮ビルディング評価融資, SMBC食・農評価融資, SMBC事業継続性評価融資.

上記は、三井住友銀行の「SMBC環境配慮評価型資金調達ソリューション」をご利用いただいたお客さまの一部です。会社は取り組みいただいた順に掲載しています。※SMBC環境配慮評価融資/私募債、環境省による利子補給制度を活用した融資など。当行は、お客さまの間に生じた苦情・紛争の取り扱いに関しまして、銀行法上の「指定紛争解決機関」である一般社団法人全国銀行協会と契約を締結しております。(ご連絡先)全国銀行協会相談室 0570-017109(一般電話から)、03-5252-3772(携帯電話・PHSから)